# 面接授業開始に向けた感染予防対策 (滝沢キャンパス)

R2. 6. 15 現在

## 1 予防消毒

場所	実施内容
共通講義棟 全講義室	・通常清掃に加え、毎日の予防消毒を実施
各学部棟 講義室	・教壇、机、椅子(背もたれ)、扉の取手、マイクを消毒
	・消毒方法は、噴射スプレーでのアルコール散布及び乾いた布での
	ふき取りの実施
パソコン設置教室	・消毒用アルコールとペーパータオルを配置し、学生自身がキーボ
システム実習室	ードとマウスを消毒
コンピュータ演習室	
語学学習室	
全施設内トイレ	・通常清掃に加え、扉の取手、便座はアルコール消毒を実施
学生センター	・相談ブース、相談カウンター、証明書等の記入机、レターボック
キャリアセンター	スを随時消毒
学生サポートサロン	
メディアセンター(図書館)	・図書館3階、4階にペーパータオル及び消毒液を配置し、利用者
	自身が座席周り(パソコン等の機器を含む)を消毒
	・図書館入館ゲート前に手指消毒液を設置

# 2 換気

場所	実施内容
共通講義棟 全講義室	定期的な換気の実施
各学部棟 講義室	・8:50~17:50 の間、教室の上段窓 20 cm程度開放
	・90 分授業中 45 分経過時点で 10 分間の窓と出入口扉開放
	熱中症対策のため冷房設定温度を調整
メディアセンター	・図書館開架スペース(3 F、4 F)の窓を開けて換気(有人時間内)
図書館	・図書館の自動ドアを定期的に開放
風のモント	・風のモントは、常時ドアを開放
学生センター	・入口ドアを常時開放
キャリアセンター	
売店及び食堂	・定期的な窓開けによる換気の実施

### 3 密集防止対策

<b>伍未</b> 则止对束	
場所	実施内容
共通講義棟 全講義室	・文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生
各学部棟 講義室	管理マニュアル~「学校の新しい生活様式」~」をもとに、各教室
	の座席配置を調整(1メートルを目安に最大限の間隔を確保)
	・各教室の座席に座席番号を貼付
	・授業ごとに座席指定
	・講義室によっては、長机を新たに配置し、座席を増設
	・長机以外の場合は、机と机の間隔をできる限り空ける。
共通講義棟ラウンジ	・レイアウト変更によりソファの間隔を広く配置
学生ホール棟	フリースペース
	・食堂、売店前にあるテーブル、椅子、ソファの使用禁止
	食堂
	・席数の50%削減、一定方向(スクール形式として)の使用のみに限定
	・混雑解消のために、メニュー提供数を縮減
	・学食の混雑防止のため、昼休み時間は各学部棟の教室等を開放
学生センター	・待合時の間隔確保のため床に待機場所をマーキング
	• 通路前掲示板を講堂前に分散設置
メディアセンター	・図書館前設置返却ポストを24時間開放
図書館	・座席 50%削減
風のモント	・グループ学習室1~4、貸出用共用機器、風のモント設置パソコン
	の利用を禁止
	・飲食禁止

## 4 飛沫感染防止対策

場所	実施内容
全施設共通	・窓口カウンター、相談ブースに透明シールド又は透明アクリルパー
	テーションを設置
	・カウンセリング室内での相談時、相談対応者と2m以上の距離を確
	保するとともに、透明シールドを設置
共通講義棟	・教員操作卓前に透明シートを設置
パソコン設置教室	・机上PCにパーテーションを設置
システム実習室	
コンピュータ演習室	
語学学習室	

### 全学生·全教職員

マスクの着用	・授業では原則マスクを着用
	・布マスク2枚を学生の住所地に郵送(売店でも取扱い)
フェイスシールドの配布	・グループワークやゼミ等近距離での対話時等の使用を推奨
	・22 日以降、大学内で配布

### 5 その他 (感染症の予防対策の強化)

実施内容		
手洗いの励行	共通講義棟トイレ	
	・トイレの洗面台に石鹸入りボトルを増設	
	・エアードライヤーを使用禁止とし、ペーパータオルを設置	
サーモグラフィカメラの設置	<ul><li>体温のセルフチェック</li></ul>	
学内の水飲機の停止		
体調不調者への対応	・体調不調者用待機スペースを設置	

# 【ひめかみ寮】

- 共有スペースでのマスク着用
- ・帰寮時及び食事の際の手洗い・うがい・アルコール除菌の実施
- ・食堂では対面を避けて着席
- ・寮内の定期的な換気
- ・手指消毒液を設置
- ・共用スペースの予防消毒を実施